
輝ける環境都市

平成18年10月

一級建築士事務所
武田曉明設計事務所

はじめに

…世界の近代都市における魅力的な環境造りの要点は道路行政と(形化)先行にある…

「環境問題」が叫ばれてる昨今、この「輝ける環境都市」計画は即ち「サステイナブル都市」の概要であり、その原型を【都市・建築に対する価値観湧出、自然との融合、ふるさと、街並み、環境・安全・財産づくり】において行なうものである。

そして、①.100年以上愛する、②.100年以上耐えられるデザインにする、③.自然と共につくる、④.子供のふるさとをつくる、⑤.美しい街並みをつくる、⑥.調和と個性をつくる、⑦.真の「財産・安全・財産」をつくる…を、計画の規範並びに姿勢としている。

世界の近代化する人口100万人都市には直ちに改革すべき都市計画共通の課題がある。

現代人の価値基準(経済・機能主義)がこれまで通り変わることがなければ、誰でもが望む魅力的な空間には決してならず、まるで機械の中にも生活している様なとても殺伐としたものであり続けるであろう。

又、都市を形成する建物群の個々についても同様で、建設の価値基準が変わらない限りさして大きな違いは無いことを規模の大小に関わらずそのプロセスと姿は証明している。

その原因は、現代都市の全体的なインフラは、何時までもどこまでも「機能性と経済性」を追求し続けることに終始して「文化的・芸術的」な側面はそれらの中には極めて乏しいことにある。

都市空間や環境を長寿させ且つ人間性に溢れるものにすると同時に機能的・財産的価値をも有するものにするには、「道路行政を含めた構造的改革」がその最重要要点である。

現代都市が望ましい近代化を果たすには、望ましい環境計画とそれに伴う且つ「場」に応じた秩序ある制度や行政、的確な姿勢や指導のあり方の中にしか期待できるものは無い。

都市計画上の改革主要点、それは単純明快なもので「道路行政を含めた構造的改革」にある。この改革は、単に道路改革に留まらずそれを越えるものとして、即ち地域のコミュニティーと生活に更なる豊かな広がりが生まれ、やがて(10年～20年)自然な形でわが国のあらゆる分野(政治・行政・教育・創造)に共通して流れる文化を現じていくことに寄与するに相違ない。

現代都市の空間・環境の改革は、先ずはこの「道路行政を含めた構造的改革」によって一変し、やがて現代都市の空間・環境は我々が共通して望んでいる質のものとなる。

.....

この計画は平成18年5月に身近な会合からその都度発表を行なっている。

平成18年8月、横浜市へ提案のため信頼関係にある市議会議員に資料をお渡した。

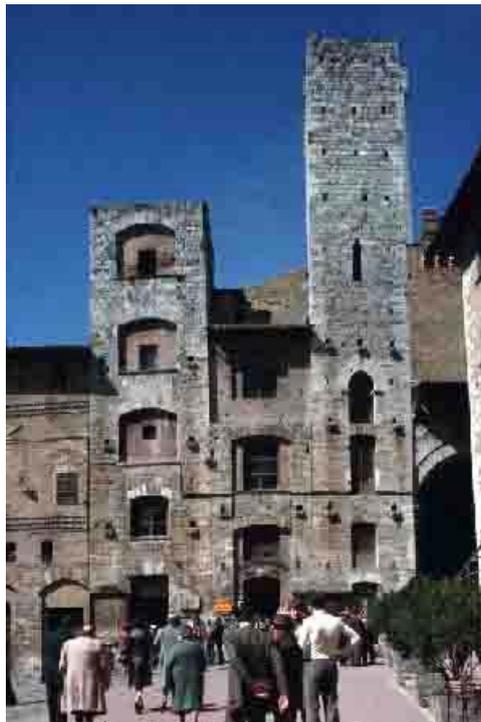
平成18年10月、其々の分野においてその使命と大いなる実績をお持ちで且つ信頼関係にある10数人の方にお渡した。

平成18年10月 武田 暁明 拝

.....

サスティーナブル都市

中世の都市
- サンジミアノー -
San Gimignano



出典：役所工事@道玄坂HP

サステイナブル都市

古都
- 京都 -
Kyoto



出典：ICYDOG HP
NPO 法人京都滋賀観光開発センターHP

サステイナブル都市

近代環境都市
- フライブルグ -
Freiburg



出典：明星大学HP
海外の山岳展望と風景HP
琉球大学HP

道

横浜の道(その1)

— 横浜 馬車道 —



人(歩行者)が行交う道

— 横浜 元町商店街 —



出典：都市デザイン横浜

— 横浜 笠間北側道路 —

開発道路(車道)完成後

車道内に 歩道を設けた道



道

— 長崎 オランダ坂 —



炭鉱全盛期にはこの小さな島に1万8千人を超える人々が住んでいた。
しかし、石炭産業の衰退と共に町の人口も減り続け、炭鉱閉山の1986年には5千人を割り、...
現在では明治初期の外国人居留地地区の坂のうち石畳のものを全てオランダ坂と呼んでいる。
中でも活水学院に通じる切通しの坂が有名になっている。

近所の住人たちが外国人を全て「オランダさん」と呼んだことに由来しているという。

出典：長崎バーチャル観光HP

道

— ドイツ カールスルーエ 自転車道 —



自転車は徒歩でも車でもない独立した交通手段の一つ。
カールスルーエ市では自転車道が発達し、市中心と郊外を結ぶ“主自転車道”や、
郊外の緑の中を走るサイクリング道がきめ細かによく整備されている。
自転車道によっては車道の中に作られていることもある。

出典:ドイツ環境情報HP

— ロンドン 交差点 —



出典:London town HP